



発行所
 (社)福島県電設業協会
 発行人 大槻賢彌
 〒960-8114
 福島市松浪町9-6
 (福島県電設会館)
 TEL (024) 533-6226
 FAX (024) 533-6235
 編集印刷 (株)福島建設工業新聞社
 福島市西中央2-59

TOSHIBA
 Leading Innovation >>>

際立つ明るさ
 驚きの高効率
 T.LEDs



E-CORE
 高効率LEDダウンライト(イーコア)

際立つ明るさ 285lm
 驚きの高効率 50lm/W
 抜群の省エネ性 電圧対応177V

東芝ライテック株式会社
 http://www.tlt.co.jp/
 郡山営業所 TEL (024) 922-5511

年頭所感

得手に帆を揚げる

今を見据えて未来へ繋ぐ

平成二十一年の新春を迎えるにあたり、謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

サブプライムローンとこの金融証券市場が弾

け、恐慌になるのではな

有の不景気になるよう

私はこの時期だからこそ

手に帆を揚げる」です。



(社)福島県電設業協会
 会長
 大槻賢彌

謹賀新年

社団法人 福島県電設業協会

六点について説明しま

1 総合設備業として連携

2 共通認識(危機意識意

3 専門部門を高機能化す

4 資機材の共同購入

5 技術者の研修を合同で

6 大手サブコン業者の草



小幡の 天喜3年(1055年)前9年の役に由来するものといわれています。戦いに敗れた源氏の軍勢がわずかに数騎で木幡山(二本松市東和町)に立て籠もったところ、一夜にして降り積もった雪で全山が白くなった様を追走してきた安倍の軍勢が、源氏の白旗に見間違え、戦わずして敗走した故事により、現在「幡祭り」として伝承されています。

エコ技術の修得に全力

3 新規事業の創出
 ①CMを採用した地方版
 PFI事業の推進

「PFI法に基づく民
 間事業者の発案型」のP
 FI事業と、PFI事業

者とは別の独立した第三
 社機関としてのCMを組
 み合わせたPFI事業で

②ライオンを安心安
 全に耐震化事業

優れたものです。

現在、ある自治体にお
 いて実施に向けての動き
 が加速しております。

4 ESCO事業への参加
 自然エネルギー技術と
 省エネ技術を組み合わせ

5 入札制度改革の要望
 節度ある入札環境の整

①予定価格事前公表の全
 廃

総合評価方式の全面導

▽事前審査の実施II工
 事内容(金額・規模・難
 易度)を検討。「経費・

▽地域要件の強化II
 「ライオンの安心安
 全」が一番大事と考えま

▽調査基準価格の引上
 げII県内の企業が生き残

6 大手サブコン業者の草
 刈場とならない為に

Panasonic ideas for life

天井革命。

[従来器具] FLR40形 × 2灯 <設計光束 4,200lm>

[WIC] G-Hf63形 × 1灯 <設計光束 4,789lm>

パナソニック電工株式会社 福島営業所
 お問い合わせ先...〒963-8024 郡山市朝日2丁目5-15 TEL.024-939-7731

2灯と同じ明るさを1灯で実現。

業界で最高出力・最長寿命のランプ*1と、専用インバータを採用。

(6,560lm) (18,000時間)

「省エネ」と「省資源」の次世代スタンダード

WIC 基準対応 環境配慮型照明器具

denko.panasonic.biz/Ebox/weco/

パナソニック電工株式会社 福島営業所
 お問い合わせ先...〒963-8024 郡山市朝日2丁目5-15 TEL.024-939-7731

新しい年の初めに当たり、県民の皆さんの御多幸を心からお祈り申し上げます。

知事就任以来、私は、県内各地を訪れ、多くの方々とお話しをする中で、本県には温かな県民性や人とのふれあいがしっかりと息づいており、県民の皆さんが共に支え合いながら地域社会を守っていることに接し、力強く感じてまいりました。あらためて皆さんの御努力に感謝申し上げます。

「活力」ある県づくり
今年度の県政運営に当たりましては、地域産業・農林水産業の振

福島県知事 佐藤 雄平

夢と希望が持てる豊かな県づくりを目指して

昨年からの急激な経済の悪化から県民生活を守り、安定させるため、経済・雇用対策を最優先に、中小企業の資金繰り支援や求職者への就職支援等に全力で取り組んでまいります。

また、これまで以上に知恵と工夫を凝らし、「活力」ある、「安全・安心」な住み心地のよい、「思いやり」が息づく県づくりを推進する。この基本方針のもと、次の施策の推進に努めてまいります。

国際大会として三月に開催される「2009年FISフリースタイルスキー世界選手権猪苗代大会」への支援をはじめ、文化やスポーツによる魅力ある地域づくりに進んでいくほか、自然災害や事故、食の問題等への適切な対応に努めてまいります。さらに、医師の確保・定着を図るなど地域医療の確保に向けてまいります。



本計画を策定することにも、自然災害や事故、食の問題等への適切な対応に努めてまいります。さらに、医師の確保・定着を図るなど地域医療の確保に向けてまいります。

夢と希望が持てる豊かさ

県が工事成績評定を改正

【改正内容】

1 工事の施工体制、施工管理、配置技術者等施工者の施工能力を適正に評価できる以下の項目を追加。

2 安全対策の評価項目にさらなる安全確保のための評価項目を追加。

3 交通安全の誘導員の資格確保、危険な場所での誘導員配置、地下埋設物の確認、緊急通報体制に関する五項目を追加。

4 安全管理に関する現場管理・防災体制に不適切であった場合の減点を厳格化。

5 法令遵守の評価項目として、建設業法違反や事故等で入札参加資格制限措置があった場合等に減点する項目を追加。

6 法令遵守の評価項目として、建設業法違反や事故等で入札参加資格制限措置があった場合等に減点する項目を追加。

7 法令遵守の評価項目として、建設業法違反や事故等で入札参加資格制限措置があった場合等に減点する項目を追加。

8 法令遵守の評価項目として、建設業法違反や事故等で入札参加資格制限措置があった場合等に減点する項目を追加。

9 法令遵守の評価項目として、建設業法違反や事故等で入札参加資格制限措置があった場合等に減点する項目を追加。

10 法令遵守の評価項目として、建設業法違反や事故等で入札参加資格制限措置があった場合等に減点する項目を追加。

低入札対策など協議

建設 設備 東北ブロック会議開く

平成二十年年度建築設備工事東北ブロック会議が十二月九日に仙台市で開催され、当協会から尾形敬英専務理事が出席した。会議には(株)日本電設工業協会東北支部と(株)日本電設工業協会の会員、国土交通省東北地方整備局など国の機関、各県から設備担当者らが出席し設備業者が抱える課題について意見を交換した。

講演会と賀詞交歓会

総合設備協会の新春行事

県総合設備協会は、一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十日に福島市のホテルにて新春行事を行う。



地域産業の振興と明るく豊かな社会づくりを目指しています。

岡田電気産業株式会社

【本社】
〒970-8625 福島県いわき市平谷川瀬字明治町27
TEL (0246) 25-6111 FAX 25-6101

- 白河 / TEL (0248) 27-3385代
- 須賀川 / TEL (0248) 72-7136代
- 郡山 / TEL (024) 952-5455代
- 郡山南 / TEL (024) 923-3298代
- 郡山北 / TEL (024) 939-3081代
- 津 / TEL (0242) 37-2660代
- 町 / TEL (0244) 22-5105代
- 原馬 / TEL (0244) 35-1234代
- 福島東 / TEL (024) 546-3700代
- 福島 / TEL (024) 553-1181代
- いわき南 / TEL (0246) 28-6111代
- 勿来 / TEL (0246) 62-3122代

山形・茨城・栃木・埼玉・千葉・東京・新潟
電材営業所 35ヶ所
住設電材営業所 9ヶ所

ディーゼル発電機 ガスタービン コージェネレーションシステム

ヤンマーエネルギーシステム株式会社

いわき営業所

〒971-8124 福島県いわき市小名浜住吉字飯塚四四一
TEL (0246) 581-5811
FAX (0246) 581-5688

人と環境を明日につなぐ、
ニノテックのシステムエンジニアリンク

情報・通信・制御・計装

株式会社ニノテック
NINOTEC 代表取締役社長 樽川 啓

本社 / 〒963-8577 郡山市島二丁目44-2
TEL (024) 935-1700 FAX (024) 935-1706
拠点 / 仙台支店・いわき営業所・福島営業所・棚倉出張所

換気扇・照明器具・空調機
オール電化品・太陽光発電

三菱電機住環境システムズ株式会社

福島支店

TEL (024) 959-6060
FAX (024) 959-6066

支部長の年頭所感

福島支部

協会員である自覚

福島支部長代行 渡邊 貞男



昨今、我々建設業界は生死を賭けた競争の世界へと突入しております。公共工事の入札制度は、指名競争入札から一般競争入札への移行したことにより競争が激化、一般競争入札であるため他地区からの参入があり、昔懐かしい地産地消という品質管理上最たる論議すら通用しない有様です。

我々電気設備工事業界においても、安全性の確保・信頼性の向上が必要

白河支部

英知を集めて前進

白河支部長 石川 巨



昨今、我々建設業界は生死を賭けた競争の世界へと突入しております。公共工事の入札制度は、指名競争入札から一般競争入札への移行したことにより競争が激化、一般競争入札であるため他地区からの参入があり、昔懐かしい地産地消という品質管理上最たる論議すら通用しない有様です。

我々電気設備工事業界においても、安全性の確保・信頼性の向上が必要

郡山支部

原点に立ち帰る時

郡山支部長 増田 穂積



昨年後半より強烈な経済不況の大嵐が吹き荒れ、止む気配がありません。過去最低を記録した国内景気は、後退が続く、今後の景気回復も不透明なままこの状況は当分続くとも言われております。

今年も、「製造」「不動産」「建設」「小売」の業界を中心に設備投資の後退・企業収益の悪化・雇用や所得の減少で、更に低迷するでしょう。

今年もよろしくお願ひします



者、二十者への絞り込み等も一案のように思えます。また、適正な積算と総合評価方式の組み合わせ、予定価格の事後公表により、施工能力のある会社が工事を施工し、価格競争のみの落札による品質の低下を防ぐことが必要と思われま

今年も昨年に増し、厳しい競争の世界になりそうです。協会全社が「我々は協会員である」との自覚を持ち、業界発展および協会の安定を切に願ひます。

変化へ迅速に対応

いわき支部長 坂本 幹夫



昨年、原油価格の異常な高騰、資材高騰そして年末にかけては百年に一度と言われる世界金融危機の真只中と、業界にとっても対処に苦慮した問題が連続する一年でした。

ただ、原油や資材の問題にしても、現代社会では非常に短期間のうちに解消するの、または別の問題が提起されてくるのか、全く予想もつかない一年でありました。

相双支部

新分野研修会の対応

相双支部長 八巻 正隆



今年、世界的に話題となっている二酸化炭素削減の削減など、建築物のライフサイクルを通じた環境負荷の低減に配慮しながら、自然と共生する環境負荷の少ない社会環境を実現する必要があります。

内容の一部を報告しましょう。価格に加え、性能を含めた総合的な評価を行なうこと、最も優れた製品やサービス等を提供された企業と契約をすると言ったことです。また、環境保全への努力も経済的にも報われる新しい経済社会を目標に構築して、適正かつ正確性の高い設計、及び施工が求められる我々業界も、今後共協力をしていく所存であります。

会津支部

陽はまた昇る

会津支部長 佐藤 脩一



一昨年は原材料の高騰で、銅が100万円を超え、原油も鉄も高騰し、昨年の年当初はインフレ移行でスタート致しました。我が業界は鉄と銅の文化であり、この時代がどのように終息するか不

安のスタートでした。その後、米国のサブプライムローン問題に端を発した百年に一度の金融不安が一気に全世界に飛び火し、いくつもの金融機関が倒産し、自動車産業も電気メーカーも大きな打

2009年 年男



昭和24年生まれ
▽相笠恵一(白河支部)
(株)白河電設

▽小宅 武(いわき支部)
部・嵐電(工事部)
昭和36年生まれ
▽佐藤春幸(会津支部)
(株)佐藤電設

報道されません。協会が本来の使命として「大手に対抗できるように地産地消の育成のための施策」を打ち出し、適正価格受注による適正品質の確保が最善であるとの社会風土の育成にも努めていく。どのような

時代が到来しても電気工事業界が不要になるとは考えられず、社会の要求にこたえつつ変化へ迅速に対応してゆけば道は拓けるといふ強い信念のもと希望をもって進んで行きたい。

一方相双地方の様子を紹介しますが相馬市、新地町にまたがる中核工業団地への進出企業の工場増設工事も、三月に開通した六号バイパスと、現在着工しております阿武隈東道路早期開通への新

限期待の通り、相乗効果が発揮されている様子がうかがえます。合わせて相馬港三号埠頭の供用開始もあり、地域振興、雇用拡大に向けて明るい材料になる様です。

我が業界も一日も早く、流行語になっているリストラから脱却をして、健全経営に向かって邁進したいものです。

より一層の創意工夫

福島県土木部

部長 秋 元 正 國



新しい年を迎え、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

現在、世界的な金融危機や原材料価格の高騰などにより、企業収益や雇用情勢も悪化の一途をたどっており、景気の冷え込みの深刻な支援、中山間地域の

振興などにも効果が波及し、元気な地域づくりに支えることができよう、効率的・効果的に社会資本整備を推進する必要があります。

国では、今後の社会資本整備に係わる、地方分権や道路整備財源の問題について議論が進められておりますが、地方における社会資本の整備状況はまだ十分なものではありません。

厳しい財政状況の中、事業の実施に当たっては、可能な限りのコスト削減や地域の実情に応じた柔軟な対応など、より一層の創意工夫に努めながら社会資本整備を推進して

まいりますと考えております。

道路づくりにつきましては、昨年八月に自動車専用道路一般国道一五号阿武隈東道路が本格的に着工され、九月には県南地方と南会津地方を結ぶ国道二八九号甲子道路が全線開通を迎えました。さらに十一月には磐城自動車道の郡山・いわき間が完全四車線化となるなど、県内各地域を縦横六本の連携軸でつなぐ道路ネットワークの着実な整備に努めてきたところであります。今年も会津縦貫北道路の「仮」塩川IC（仮）湯川IC間の暫定二車線供用が予定されていることから、県内外の地域間交流が一層活発になるものと期待しております。

が、引き続き、地域に活力をもたらす道路整備を重点的に進めてまいります。

安全・安心の県づくりにつぎましては、阿武隈水系六角川及び藤原川水系湯本川の河川改修事業が今年完了し、沿川地域における治水安全度が大きく向上するものと考えておりますが、近年、局地的な集中豪雨等による急激な河川の水位上昇や、これまで発生確率が低いとされていた地域における大規模な地震が起きていることから、引き続き災害に強い施設整備を着実に推進し、さらには建築物の耐震対策の推進を図るとともに、市町村とも連携し、県民の防災意識の向上にも取り組んでまいります。

さらには、観光の活性化につながる社会資本整備のため、「地域自立・活性化交付金」を積極的に活用するとともに、地域づくりで

は、「元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業」により地域と連携を図りながら住民参加による個性と魅力ある美しいまちづくりを積極的に推進する考えであります。

社会資本整備の目的は、県や地域の活力を生み出す基盤の充実であり、県民の皆さまに利用されて初めて生きるものであるとの考えを基本として、活力あ

る県づくりに向けた事業を展開してまいりますと考えておりますので、なお一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

県立勿来工業高校生

インターンシップを終えて

仕事の大変さと学ぶ



電気科2年 菅野 涼

インターンシップを行う前は、会社にあまり行きたくありませんでした。理由は何か作業を失敗してしまったり会社の人いろいろな言われるのではないかと思っていたからです。でも会社に行っている作業をしましたが、失敗しても担当の人は優しく教えてくれました。

一日目は午前中、専務の塩さんに少し話をし

いただいた後に安全についてのビデオを見ました。仕事を始める時の注意についてのビデオはとても勉強になりました。午後はパソコンをやりました。エクセルだったので結構簡単にできました。

二日目は午前、会社の倉庫で材料と工具の説明をもらった後、スイッチを押すと電球の明かりが点く回路を作りました。シーケンスを初めてやったのでとても難しかったです。午後は現場に行き、実際に動いている人と一緒にケーブルを運ぶ作業をしました。

とも大変でした。三日目は午前、CADをやりました。このCADは学校で使っている物とは違う物だったので、使い方を覚えるのが大変でした。なので、最初は担当の人に時々聞きながら作業をしました。午後午前と同じくCADをやりました。この日は学校で使っているとは違

うCADを使うことができたので、とても良かったです。

今回、インターンシップを三日間やってみて会社の仕事の大変さを学ぶことができました。とても勉強になりました。風電気工事の皆様には、いろいろなことを教えていただきありがとうございます。今後これらのご指導を参考に生かしていきたいと思っております。

その時ちょうどアルパインがコンピュータのコンセントの取り付けをしていたので、僕は担当の人に電気工事士の実技のことや引込中（柱？）に流れている電圧などいろいろ教えて頂きました。普段気付けていない場所がたくさん電気が流れているところがあって驚きました。

三日目は、コンセントの取り付けなどを見せてもらいました。実際の作

業では、素早く動いていたのが職人の人たちはすごいと思いました。

今回のインターンシップで、いかに確実に仕事をするかや会社の厳しさ、言葉遣い、態度などを学ぶことができました。確かに優しい社員の方が多かったですが、実際はもっと厳しいと思うので、今回の経験を今後の活動に生かしたいと思っております。三日間お世話になりました。ありがとうございました。特に、初日に案内

経験を今後にかす



電気科2年 山本 琢 磨

インターンシップ前は、どういふふうに仕事をしたらいいかなどを会社に聞いたことを考えていたが眠れないまま当日になってしまいました。

まず、一日目の最初は

朝礼から始まりました。ラジオ体操をして一日の注意事項（現場での使用する道具やその注意）などを確認し、僕はアマリンふくしまに行き、中にあるボイラーやエンジンなどを見せてもらい、とてもいい勉強になりました。

二日目は、午前と午後どちら現場に行きま

将来は電気工事へ



電気科2年 大河 健 夫

出社前は、どういうことをするのか、どういう仕事をするのかなど色々な事があり、とても緊張していました。また、僕

が今まで習ってきたことをうまく生かす事ができるかもしれないという気持ちもあり、とても楽しみにしていました。

一日目は、一般常識、電気基礎知識問題と電気工事の概要、および図面による説明がありました。問題の方は、電気基

礎の問題では学校で習ったことを生かせることができましたので良かったです。

図面による説明のほうは少し分からなかったところもありましたが、きちんと説明を聞いて理解する事ができました。

二日目は、自己保持回路の解説および実習と、現場研修がありました。自己保持回路の方は阿部さんに教えてもらって回路を完成させる事が出来ました。現場研修の方は、雨が降っていて見学だけになってしまいました。現場研修の種類について理解することが出来ました。

三日目は現場研修と現場KY（危険予知）関係および安全知識について学習しました。現場研修は、クリナップへ行って火災報知器の点検をしました。普段はあまり火災報知器について学習をしないのでとても勉強になりました。現場KYは電気工事をする際に気をつ

は、「元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業」により地域と連携を図りながら住民参加による個性と魅力ある美しいまちづくりを積極的に推進する考えであります。

社会資本整備の目的は、県や地域の活力を生み出す基盤の充実であり、県民の皆さまに利用されて初めて生きるものであるとの考えを基本として、活力あ

る県づくりに向けた事業を展開してまいりますと考えておりますので、なお一層の御支援、御協力をお願い申し上げます。

仕様書など解説

県営繕関係基準類改正

このうち福島・相双地区の企業を対象にした説明会は、十二月九日に県庁で行われ約百人が参加した。県土木部営繕課の木下浩一・高橋弘直主任建築技師と但野真弘主任査、同技術管理課の須藤祐樹副主任建築技師が、建築・設備工事共通仕様書の概要や建築関係工事積算基準、電子納品運用ガイドラインについて約二時間にわたり説明した。会津地区は十二月五日、県中地区は十一日、いわき地区では十六日に行われた。



最新の設備機器学ぶ

福島支部が市と合同研修会



環境負荷低減をテーマとした研修会

技術向上と意見交換

福島支部（共催）福島市と合同技術研修会を開催。電気工事施工管理技術士（以下「電技士」）と福島市建築住宅課は、市庁舎の発注も有りは、毎年恒例の事業として、我々の技術向上及び発注者との意見交換を兼ねた研修会を開催し、十二月四日に福島市飯坂支所会議室におきまして、タイムリーな研修となり

福島県土木部建築総室

社会資本整備の現況と展望

新しい年を迎え、皆様のご多幸と御清栄を心からお喜び申し上げます。

本県の建築行政の推進につきましては、日頃より格段のご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、今日においては、地方分権の進展や人口減少・少子高齢社会の急速な進行など、

ました。研修では、まず福島支部長挨拶としまして、渡邊貞男支部長代行より支部での技術力向上にむけた取り組み等の開催趣旨について述べられ、福島市建設部参事兼建築住宅課長菊田将恒様より福島支部の事業等の取り組み、本年度発注があった新庁舎についてのお話しをいただき講義へとうつりま

した。本年度研修のテーマは「環境負荷低減を考えた最新の電灯設備」他という事で新庁舎建設に向け、三部構成で研修が行われました。

第一部は場内PHS設備としてKDDI(株)FCM営業本部FMC東北支社営業技術グループ課長補佐平岡正彦様より、内線電話としての携帯電話の利用等について講義を

風土に合うエコ住宅

超学際機構普及協議会

いたいただきました。庁舎等の施設での内線電話としての携帯電話の有効活用について理解を深めました。第二部は地デジ対策としてマスプロ電気(株)郡山営業所係長大槻孝志様より、集合住宅、個別住宅、共聴設備のデジタル化対応について説明を受け、デジタル化対応についての理解を深めました。第三部は今回のメインテーマでもある省エネ電灯設備について、東芝ライテック(株)営業本部営業企画部セルスプロモーション担当主務大久保令子様よりCO2削減、照明設備の省エネ化対策、照明器具の省エネ制御システム、LED等の環境負荷低減にむけた設備をサンプル品をまじえ今後照明設備設計施工等に活用等について学びました。各講義を終え、それぞれ

の適正な維持管理に努めてまいります。一方、昨年は岩手・宮城内陸地震をはじめとして、建築物の安全性を脅かす災害等が発生しました。こうした災害などに備えるため、建築物のより一層の安全対策が急務と

なっていることから、木造住宅の耐震化を促進しているところであり、事業に取り組みする町村を支援するとともに、福島県耐震化・リフォーム等推進協議会と連携し、県民からの相談に対応していま

は、十二月十八日に福島市のコラッセふくしまで第2回県エコ住宅普及促進協議会(会長：鈴木浩福島大学共生システム理工学類教授)を開いた。建築、設備関係者、消費者の代表、県の建築住宅課、林業指導課、環境共生課などから十三人、

社会経済情勢が大きく変化する中、県民の多様なニーズに対応した良質な住宅・建築ストックの形成及び公共建築の整備が求められています。

このことから、県営住宅総合再生計画の改定による県営住宅のより効率的かつ経済的な活用・改善をはじめ、県有建築物のストック

環境性能診断を推進

また、県有建築物については、今年度中に全ての防災上重要な建築物等の耐震診断を終了させ、平成二十七年までに耐震化率九〇

また、県有建築物については、今年度中に全ての防災上重要な建築物等の耐震診断を終了させ、平成二十七年までに耐震化率九〇

また、断熱性の向上を中心とする既存住宅・マンション等での省エネ・省CO2。工法や技術を普及するため、一月下旬に福島市のコラッセふくしまで専門家向けの「エコリフォーム普及セミナー」を開催することを決め、講習内容を協議

電気技術総合コンサルタント!!
自家用電気施設のことは、お気軽に、ご相談下さい。

社団法人東北電気管理技術者協会

協会本部/仙台市青葉区花京院二丁目1-11プレシージャパンビル TEL(022)261-6015

福島支部	金津若松市日新町1-39	TEL(0242)27-5152
福島電気管理センター	二本松市油井字漆原町42	TEL(0243)22-2674
郡山電気管理センター	須賀川市森宿字野田89-16	TEL(0248)73-4395
会津電気管理センター	会津若松市河東町谷沢字十文字53	TEL(0242)75-2518
相双電気管理センター	南相馬市原町区仲町一丁目157	TEL(0244)22-2817
白河電気管理センター	東白川郡榎倉町大字関口字笹平33	TEL(0247)33-2899
いわき電気管理センター	いわき市平泉崎字南葉25-3	TEL(0246)34-5551

電気設備の総合メンテナンスは当協会に!

当協会は、自家用電気設備の保安管理業務のほか、変圧器、リレー等の試験や非常用予備発電装置の点検、省エネの調査分析など幅広く行っております。何なりとお気軽にご利用下さい。

財団法人東北電気保安協会

福島事業本部	福島市矢矧町1-22	TEL(024)526-1311
福島事業所	福島市矢矧町1-22	TEL(024)526-2111
原町事業所	南相馬市原町区上波佐字原田432-1	TEL(0244)22-3568
郡山事業所	郡山市富田町福川原1	TEL(024)932-6054
白河事業所	白河市東三坂山2-47	TEL(0248)22-6066
いわき事業所	いわき市好間町上好間字洞42-1	TEL(0246)36-1177
若松事業所	会津若松市町北町大字上荒久田字村北147	TEL(0242)32-3350
田島事業所	南会津郡南会津町田島字南下殿66-1	TEL(0241)62-4847
須賀川事業所	須賀川市西川字後田78-5	TEL(0248)72-9120

電線・配線器具・照明器具・開閉器・配電機器
電線管及び付属品・電線資材一式卸

戸部電材株式会社
仙台市宮城野区日の出町2丁目2-13
TEL (022) 783-8181

■福島営業所	福島市瀬上町字桜町3-12-3	TEL(024)553-8551(代)
■福島西営業所	福島市大森字街道下57-1	TEL(024)544-6228(代)
■郡山営業所	郡山市大槻町下町東52	TEL(024)961-6667(代)
■郡山南営業所	郡山市大槻町下町東52	TEL(024)961-6667(代)
■白河営業所	西白河郡西郷村大字米字中山前84-10	TEL(0248)21-1971(代)
■原町営業所	南相馬市原町区北原字本屋敷153	TEL(0244)23-6106(代)
■相馬営業所	相馬市椎木字北原104-1	TEL(0244)35-6350(代)
■いわき営業所	いわき市鹿島町御代字大一田1-1	TEL(0246)76-1055(代)
■平営業所	いわき市平塩字出口43-5	TEL(0246)35-6481(代)

電設資材全般卸
地域と共に歩む

東芝電材マーケティング株式会社
東北電材社

福島支店

福島営業所	TEL(024)553-4165
郡山営業所	TEL(024)934-3065
白河営業所	TEL(0248)21-0360
いわき営業所	TEL(0246)75-0700

WASAKI

高効率、高演色、省エネのセラルクス!!

セラミックメタルハイドランプ CERALUX
70W・150W・250W・400W

岩崎電気株式会社
http://www.iwasaki.co.jp/

郡山営業所/〒963-8046 郡山市町東3丁目103番 TEL.024(961)2292

技術と信頼を誇る
電気、機械の総合メーカー!!

DAIZEN

大全電機株式会社

〒984-0002 仙台市若林区卸町東五丁目7番18号
TEL(022)288-0701代 FAX(022)288-0705

役員らが研修行こう

公益法人制度改革に対応

県総合設備協会(大槻 五日に郡山ユラックス熱賢彌会長)は、十二月十一日海で新公益法人制度改革に



専門の会計士から説明を聞く役員ら

する研修会を開いた。当協会からは、正副会長と支部長ら役員が参加した。

冒頭、あいさつに立った大槻会長は「公益法人制度改革により今年から新制度となった。現在の公益法人は五年以内に公益か一般社団・財団を選択して移行することになる。設備三団体は、法改正の趣旨を理解して的確に対応していきたい」と述べた。

講師には内閣府公益認定等委員会新公益法人制度普及・啓発員の村山秀幸氏(山形市・村山公認

会計士事務所長)を招いた。公益法人制度改革では、民による公益の増進と従来の公益法人制度の問題点を解決することを目的としており、これまでの主務官庁による設立許可制度を改め、登記のみで設立できるようにした。公益事業を主目的とする法人については、民間有識者による委員会の意見に基づき認定する。平成十八年六月一日に関連三法が公布され二十年十二月一日に施行、現行の社団法人は、五年の間新組織に移行しなかった場合や申請が認められなければ解散となる。

1級学科は6月14日

電気施工管理技術検定

建設業振興基金試験(勤建設業振興基金試験)研修本部は、平成二十一年度電気工事施工管理技術検定試験の日程を発表した。一級施工管理技術検定の学科試験手続は、一月三十日から試験申込書販売開始、二月十三日から二十七日まで申し込み受付。五月二十五日から学科試験受験票送付、六月十四日に行われる学科試験の発表は七月十七日、同日から二十一年度並み急激に奈落の底に落ち込んでしまいました。金融分野の変動にどう

まえ、それぞれ支部などで委員の意見を調整して、今回の研修を踏まえていくつもりだ。

編集後記

広報委員長 浜田和夫

新年明けましておめでとうございます。昨秋から世界各国の経済が軒をたたくという落ち込みです。不気味というしかありません。民間分野の設備投資の延期・中止などが予想され、我々電気工事業界にとってはここ数年にわたる入札制度の改革にもまして試験の年となるのは間違いないことでしょう。ただ、電気という仕事は維持メンテナンスが非常に大事であるという側面もあって、その種の定期的な仕事は決してなくなりません。その点が他の業界に比べて特徴的なところであり、また我々が責任を果たすべきところでもありません。

年頭所感

公共事業を確保拡大

(社)福島県建設産業団体連合会 会長 三瓶英才



社団法人福島県建設業協会の皆様におかれましては、お変わりなく新年を迎えられましたこと、お慶び申し上げます。皆様方には、建産連等各般にわたり、多大なるご協力をいただいていることに対し、深甚なる感謝を申し上げます。

さて、平成21年度の公共事業費であります。マスコミ報道によりますと、県は、財源不足額が過去最大規模の720億円となることから、当初予算編成方針で大幅な削減を図

る見込みと報じております。加えて、米国のサブプライムローン問題や証券会社等の破綻を背景に、世界的な金融不安や景気の悪化により、わが国の実体経済も低迷、百年に一度の危機と言われ民間設備投資も期待できない環境にあります。

投資額は、人口一人当たり全国三十五位であります。可住地面積当りですと全国第四十六位です。このように社会資本整備が遅れており、県民生活の安心・安全確保の点からも整備促進は焦眉の急であります。

また、この社会資本整備は景気対策にも有効な手段で、地域に速効的効果が得られ、長期的には、生産基盤の強化に繋がるものであります。

従って、県民生活の安心・安全確保、経済の活性化のため、同時並行で、建設産業を守るために、建設産業を守るた

め、今、建産連が取り組むべき大きなテーマは公共事業の確保・拡大と考えております。次に、入札契約制度の問題であります。各地域の地場産業と納税はじめ地域住民の雇用、地域コミュニティのイベント協力、自然災害発生時の緊急対応等様々な面で、貢献する地域の建設産業が正しく評価されるのが重要であります。

機能アップ

- ブレーカ探査
- ケーブル探査
- 埋設線探査
- 漏電点探査(死線)
- 回路電圧表示

Superラインチェッカ TLC-C形

T.gami 株式会社 戸上電機製作所 東北支店
TEL 022-295-5571 FAX022-295-5573

高低圧配電盤・制御盤・監視盤・計装盤・分電盤

ワイム

株式会社山形電機製作所
福島営業所 所長 渡辺良邦

福島市大森字宮ノ前54-5 〒960-1101
TEL (024)546-1321 FAX (024)546-1322
支店・営業所/東京・仙台・札幌・山形・秋田・岩手・福島
場/山形・北海道千歳

ご意見をお寄せ下さい

社団法人福島県電設業協会

〒960-8114 福島市松浪町9-6
TEL (024)533-6226 FAX (024)533-6235
E-mail: info@fukudensetsukyo.or.jp
URL: http://www.fukudensetsukyo.or.jp

営業品目 受配電盤・制御盤・監視盤・FAシステム
ビル監視システム・分電盤・開閉器盤

TOWA

東和電機工業株式会社
郡山営業所 所長 蒔苗 聰

福島県郡山市開成5-18-20 〒963-8851
TEL (024)933-3299 FAX (024)934-5178

本社・青森工場 〒038-1216
青森県南津軽郡崎町大字榊字和田8-1
TEL (0172)69-5111 FAX (0172)69-5122

安全と信頼

日本信号株式会社

■営業品目 ●交通信号製品 ●駐車場機器製品
●入退館システム

■東北支店
〒980-6122 仙台市青葉区中央1丁目3番1号(AERビル)
TEL (022)261-8371(代) FAX (022)225-4627

配電盤 制御システムメーカー

FURUKAWA

古川電気工業株式会社
郡山支店

支店長 小野寺 優

福島県郡山市若葉町11-23 ☎ (024) 934-0859
FAX (024) 934-0861

本社/仙台市宮城野区扇町2-1-10
仙台工場/仙台市宮城野区扇町2-1-10
支店・営業所/仙台・東京・横浜・川崎・盛岡・札幌